

◆ たくさんのお支えありがとうございます ◆

平成29年度

旭市ふるさと応援寄付金

市への思いやまちづくりへの参加意識を持つ皆さんから、貴重な寄付をいただきました。
平成29年度のふるさと応援寄付金の内訳と活用した事業を紹介します。

ふるさと応援寄付金

市のふるさと応援寄付金は平成27年度から始まり、寄付者が寄付金の使われ方を決めて寄付する制度です。ふるさと納税などによる市外からの寄付のほか、市内の寄付者からの応援もあり、昨年度のふるさと応援寄付金の内訳は表1のとおりでした。

ふるさと応援寄付金を活用した事業

寄付金は旭市ふるさと応援基金として積み立てられ、昨年度から表2のとおり事業への活用が始まりました。

問い合わせ先

企画政策課政策推進班

☎ 62・5382

表1 平成29年度ふるさと応援寄付金の内訳

寄付金の使道	件数	寄付額(円)
産業の振興(農水産業・商工業・観光の振興など)	193	8,507,310
健康福祉の充実(子育て支援、高齢者福祉の充実、スポーツの振興など)	191	3,167,000
教育の充実(学校教育の充実、生涯学習の充実、芸術文化の振興など)	112	13,221,000
生活基盤の整備(道路の整備、公園の維持管理、公共交通網の整備など)	46	760,000
安全安心なまちづくり(防災力の強化、消防力の強化、交通安全対策など)	85	1,296,688
指定なし	299	5,375,400
合計	926	32,327,398

表2 平成29年度ふるさと応援寄付金の活用事業

使途項目	基金充当事業名	充当額(円)
産業の振興	商業活性化推進事業(うち使用期限付プレミアム商品券)	5,000,000
健康福祉の充実	老人クラブ活動促進事業	980,000
	あさひ健康応援ポイント事業	500,000
教育の充実	学校いきいきプラン事業	12,000,000
生活基盤の整備	旭スポーツの森公園整備事業	1,000,000
安全安心なまちづくり	防災対策整備事業(うち避難者用備蓄食料費など)	1,000,000
指定なし	インターネット活用事業(うちシティプロモーション)	500,000
合計		20,980,000

※平成29年度末のふるさと応援基金残高は30,553,270円です。

都市計画ってなんだろう？ 第2回

暮らしやすいまちを考える

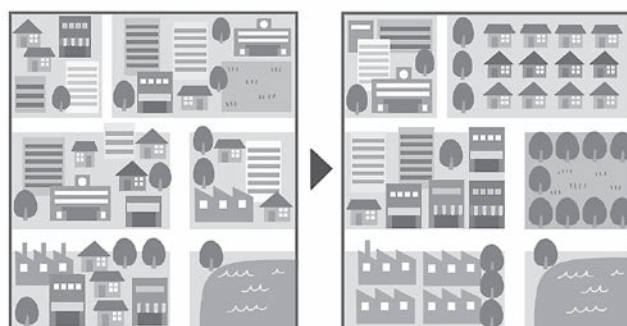
都市計画には建物の用途ごとの配置や、大きさなどを定めたルールがあります。都市計画によりつくられる暮らしやすいまちとはどういうものか、家の間取りに例えて考えてみましょう。

暮らしやすい家の間取り

家の間取りは寝室やキッチン、トイレなど、その用途の違いで部屋が分かれ、生活動線に合わせて部屋と廊下が配置されています。家族に合った間取りにすることで、私たちの家は暮らしやすいものになっています。

効率的な配置で暮らしやすいまちに

用途の違いや生活動線を考慮した家の間取りを決めることで、暮らしやすい家になるのであれば、まちも建物が用途ごとにまとまり効率的に道路や公園が配置されることで、暮らしやすいまちになるのではないのでしょうか。



都市計画は同じ用途の建物を集め、効率的に道路や公園を配置することで暮らしやすいまちを作り上げていくものです。

次回は都市計画によって、どのようにまち並みが変わっていくのか考えてみましょう。

岡都市整備課都市計画班 ☎62-5355